

金のいぶき 機能性玄米食専用米 ～ふるさと納税でも人気～

涌谷町は今1300年の時を超えて、黄金色に輝く金の収穫で注目を浴びている。その金の名は、機能性玄米食専用米「金のいぶき」！

日本で初めて金が採掘された同町は、奈良の大仏建立の際にその金を使用したことで知られる。



「金のいぶき」は、栄養の詰まった胚芽量が通常の玄米の約3倍あり、GABAやビタミンEが多く含まれ、リラックス効果や血圧降下作用、アンチエイジングにも期待が持たれ、健康志向や美意識が高い方々に好評を得ている。



これまでは県内中心の小売りであったが、涌谷町産「金のいぶき」は、他に比べ特に甘味が強くて美味しいとの声があり、今春は15haへと作付けを拡大し、JA全農が運営するインターネットサイト「JAタウン」において、全国各地へと顧客の拡大を図る。

ふるさと納税の返礼品としても人気を博す一方で、同米を使った玄米甘露やアイスクリームなどの関連商品も開発されており、町内では「金のいぶき」による、現代のゴールドラッシュに沸いている。

町の担当者は、「召し上がった皆さんには涌谷町産の『金のいぶき』で、ますます健康に、美しく輝いてほしい」と語る。

商品の問い合わせは、涌谷町農林振興課農産園芸班（☎0229-43-6910）まで。